

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2025.09.08

No.031



生成 AI で作成

JR東日本輸送サービス労働組合 豊田運輸区分会

TOTAYUKU NEWS



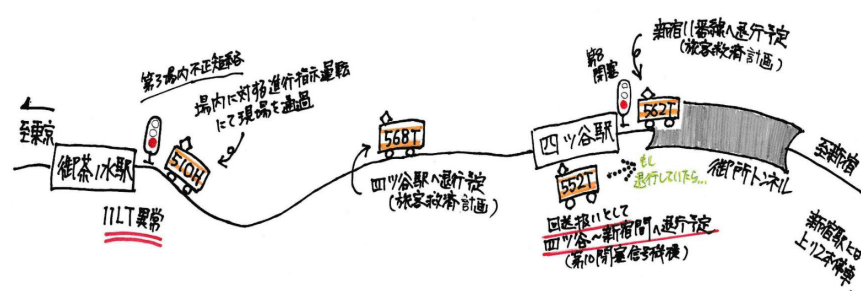
QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です
発行責任者:分会執行委員長
2025年9月7日(日)
第39号

連続して発生した不正落下 退行運転の指示に乗務員の多くが疑問視!! あわや列車衝突もあり得た!? 運転整理を含めた徹底的な原因究明を

9月4日と5日の早朝に四ツ谷～御茶ノ水間で不正落下が連続して発生しました。朝の通勤・通学時間帯に多くの利用者へご迷惑をおかけすることとなりました。線路や信号機などの点検や修繕など含め、同様の事象が発生しないように徹底的な原因究明が求められますが、あわや列車衝突もあり得た指令の指示など運転整理の方法についても課題が明らかになりましたので皆さんの声を基に再発防止対策を求めています。

【9月4日(木)6:50頃】

発生時、御茶ノ水～四ツ谷間に510Hと568Tが、四ツ谷～新宿間に562Tが機外停車となりました。510Hについては場内に対する進行の指示運転、旅客救済のため御茶ノ水～新宿間停車中の複数列車に対して退行運転の指示が計画され、乗務員に対して退行運転のための準備をするように指示がなされました。



《その時の552T運転士は…》

そのうちの1つである四ツ谷駅にて抑止を指示された552Tは568Tの救済のため四ツ谷～新宿間へと退行する計画になりました。そのため、回送扱いとなり駅の車内貫通後ドアが閉扉され、運転士は機器整備後に新宿方乗務員室にエンド交換を行いました。

運転士はエンド交換を終えたことを指令に報告したところ、**後続である四ツ谷～新宿間の562Tがまだ新宿駅まで退行していないのにも関わらず抑止解除されました。運転士はとっさに「まだ目の前に後続(562T)が停まっていますけど」と指摘したところ、再度抑止の指示がなされました。**

あわや列車衝突も!? 退行運転は本当に安全なのだろうか!?

後続列車が目の前に見えたから列車衝突は免れましたが、カーブするトンネル内の見えないところに停車していたらあわや大惨事になるところでした。

後に分会が職場集会にて聴き取りなどを行ったところ、多くの乗務員から「数多くの列車が走行している時間帯に何でそんな時間の要することをするのだろうか?と話し合っていた」「順方向への救済の方がより安全だと思う」との意見が寄せられました。

退行の準備が行われていましたが、御茶ノ水駅機外の510Hが場内に対する進行の指示運転を行ったところ信号機が通常現示となったため退行運転は取り消しとなり順方向への運転継続となりました。

【9月5日(金)6:01頃】

発生時、御茶ノ水駅機外に554Tが停車。場内に対する進行の指示運転を実施。後続も同様(一部は新宿にて中野方へ折返し運転)

事象を明らかにし職場からすべての仲間で安全議論を積み重ねよう

列車の運行は指令の指示も重要ですが、現場の状況までは事細かに把握できません。そこで重要になるのが実際に列車を動かす乗務員です。より安全サイドへ高めるためにも、列車を止めることや動かす判断をできるようにしていきましょう。

そのためにも事象の共有や安全議論は欠かせません。すべての仲間で職場から安全文化を創り出していきたいです!



何よりも安全を第一とする体制を確立するべきだ!

中央快速線で、あわや列車衝突の事象が発生!